

060-8789 札幌中央郵便局私書箱 66号

☎011-751-8833 fax011-711-0696

<http://yusanrosapporo.web.fc2.com/>

郵政産業ユニオン さっぽろ

発行

郵政産業ユニオン札幌支部

発行責任者 岩倉 政義

平成25年度 月給制契約 社員から正社員への 登用は4704人!

4月から「新人事・給与制度」が実施された。1・全員が地域基幹職（CS、業務職）（新）一般職に移行し、2・新たな評価制度が実施され、3・日本郵便では「業績手当」が導入された。

正社員は将来ひたすら管理者をめざす者とそうでない（新）一般職に二分化され、低賃金・格差賃金を持ち込まれた。月給制社員から4,704人が採用されたが正社員化の受け皿にはならないものだ。

14春闘地域統一行動 札幌市内集配郵便局に 春闘ピラ配布!

札幌支部は17、20日にかけて春闘ピラを門前配布した。組合員、OBに応援を要請して門前ピラの配布を敢行した。

17日手稲、18日札幌中央、篠路、山鼻、札幌西、19日札幌東、丘珠、20日札幌北、札幌南、午前7時に配布を開始、労担と管理者が局敷地内で監視の眼を光らせた。

- 期間雇用社員時間給150円引上げ
- 全国どこでも最低賃金1,200円以上に
- 希望する非正規社員の正社員化、時給制から月給制への登用要件を抜本的に緩和、選考にあたっては勤続年数や熟練度



通行人が行き交う 中で春闘ピラを配布、札幌中央郵便局。

私たちは要求します。

- 正社員2万円・短時間社員1万円
- 再雇用・フルタイム社員2万円・再雇用短時間社員1万円



札幌中央郵便局では150枚を配布、飯田郵産労ユニオン道本部委員長、OB、組合員が参加、「郵産労ユニオンです。」と、天気はまずまずでしたが寒い中でたたかう姿をアピールしました。



を加味した登用要件に
●正社員の大幅増員で労働条件の改善を
札幌西郵便局・敷地外で配布、避けていく人、拒否する人、別の通路にいく人、受け取る人様々な光景が見られた、監視員との挨拶が印象的でした。

2014年春闘 6回の賃金交渉、 3月18日、ストライキ を決行!

3月12日第5回団体交渉
・会社一次回答・組合反論

3月14日第6回団体交渉
・会社二次回答・組合主張

(ストライキ通告)交渉
中断)

3月18日ストライキ決行

全国28職場・71名突入
日本郵便24局61名、ゆうちょ1JC、3店6名

3月25日第7回団体交渉

大綱整理

3月10日第一次回答
・定期昇給は完全実施

3月13日第二次回答

・正社員IIベア1・000円

・一時金年間3.5ヶ月夏1・65、冬1.85)

・月給制社員IIベア1・000円

・時給制社員II「スキルA習熟度なし」の資格給を一律10円引上げ

・要員確保が困難と思われる地域については2014年度中に正社員追加採用を検討(一次回答)から実施

近畿は5拠点で

一時限のスト
ライキを貫徹!

8時から

吹田千里郵便局・右京郵便局・

9時から

神戸中央郵便局

13時30分から

垂水郵便局・左京郵便局

左京郵便局スト突入集会で、北河内支部から「会社は公表されていない顧問に2億4千万円の報酬を払っていた」と指摘。直後、会社側の管理者が無断写真撮影、トラブルで一時騒然になったが、会社側を圧倒してストライキを貫徹した。

第85回メーデー北海道集会

2014年5月1日(木)

集会 10:00 デモ11:00 (集合=9時30分)

場所 中島公園・自由広場

今年の人文字は、「いいね! 9条」、人文字1回目は「STOP 泊」、続いて「絆」、3回目は「核 ZERO」でした。

※懇親会

13:00から居酒屋「瑠玖」狸小路6丁目

会費=3000円(飲み放題)



第6回賃金交渉でストライキ 決行を決断した!

本部は第5回交渉で再回答を求めた。3月14日第6回交渉で、会社の「最終回答」の見解を受けて「これ以上の進展は見込まれない」と判断し、「争議行為」に入ることを宣言した。

交渉経過(本部主張)

- ・6年ぶりのベアに一步踏み出した点は再検討の現れと理解する。
- ・一人平均1000円のベアでは要求と乖離しており、納得できない。
- ・他社の賃金引上げ状況が新聞報道されている、他社は正社員のベアに留まらず、非正規社員への処遇改善も行なっている。
- ・他社と比較して云々と言うのであれば、今回の期間雇用社員に対する処遇改善は不十分だ。
- ・「中期経営計画」で1兆3000億円の投資で、「施設や設備」の環境整備をおこなった職場で働いているのは人である郵政労働者だ。
- ・システムやネットワークを生かしてより良いサービスを行うも郵政労働者だ。

業績手当の新設

「郵便業務調整額」、郵便業務関連手当」及び「郵便営業手当」を廃止し、「業績手当」を新設、(業務)と(営業)の2種類。それぞれ下図のような配分流れになる。
 「郵便業務調整額」(月額15,100円又は12,000円)は75%が業績、25%が営業に、2,000円は役割基本給(役職等に応じた調整額)に原資移管される。
 ※期間雇用社員への制度の導入は時期及び財源面への影響等を含めて検討中だが、不透明である。

- ・「中期経営計画」で従業員43万人と明記しているとおり、正社員・非正規社員を含めた人数だ。「人への投資」をおこなうべきだ。
- ・「より良いサービスを提供していく」という点は組合も同じ考えだ。だから私たちは、安定した雇用の中でより良いサービスを提供していくための正社員化を求めている。
- ・細やかなサービスを提供するために大幅増員を求めている。

業績手当(業務)・・・「次回は業績手当(営業)とポイント管理について詳細します。」

I 配分の流れ 一人ひとりに割り当てられた業務量の中で

